

早蕨 会 月 報
毎月 1 回 発行
= 編 集 責 任 者 =
山 本 真 弓
豊橋市東雲町162
TEL. 61-1268

創立十八周年に

当って

院長 山本孝之

十八周年記念日を迎えるに当って、
今迄の病院をふり返るとともに、今
後のあり方について考えたいと思
います。



一、私の人生観

① 真理

今迄の病院の歩みを理解していた
だくためには、先ず、私の人生観を
ご理解いただかなくてはなりません。

この世の中のすべてを支配し、そ
して、すべてのものがそれに従って
変化する真理があるならば、それを
的確に把握し、それに意識的に従っ
て行動することが、最も正しい生き

方ではないかと、私は考えました。

そして、真理を求めて、本を読み、
多くの人の話を聞いた結果、お釈迦
様が発見された、因縁と諸行無常こ
そ、この世を支配する真理だと感じ
ました。

② 因縁

因縁には二つの面があり、一つは
すべての物は因縁によって生じ、且
つ滅してゆくと言うことで、親の因
果が子に報いと言うように、人々の
どのような行動も、必ずいつかはそ
の人の所へ帰ってくると言う因果律
です。

もう一つの面は、袖すり合うも他
生の縁と言うように、一寸見ると縁
もゆかりもないように見えるもので
あっても、悉くが、時間的にも空間
的にも切っても切れない密接不離な

関係があると言うことです。

③ 諸行無常

諸行無常は、あらゆる物がいつま
でも今のままでは存在しないと
言うことです。

宇宙は、百二十億年前の原始爆発
以来、膨脹を続けて居りますが、そ
の中で、いくつもの星が生まれ、そ
していずれもどんどん進化し続け、
やがて消滅して行きます。私達の地
球も、約四十五億年前に生まれまし
たが、あと五十億年位で太陽に吸収
されて無くなりますし、その太陽す
らも、あと百億年位で無くなります。
勿論、それよりずっと以前に、地球
上の生物はすべて死滅するはず
です。どんなに莫大な財産も、いかに素
晴らしい家や車でも、すべてが永遠
に私のものだと言うものはないので
す。まさに色即是空、空即是色なの
です。

④ 人生観



私達は、有難い因縁で、人間とし
ての生命を与えられ、そして、めっ

目 次

創立十八周年に当って……山本孝之 1~3
創立十八周年記念行事…………… 3

◆ 医学講座 ◆

心と体の関係……………山本孝之 5~6
老人と薬剤……………武田正治 6
失読・錯読の治療……………石井和子 6
糖尿病の献立作成……………細井悦子 7
家庭看護のポイント……………河辺光雄 7
症例研究会……………高部ゆかり 8
さわらび荘だより…………… 9
オムツ使用者三〇%切る……………成田和夫 9
老人ホーム利用料改定……………安形健郎 10
さわらび荘を慰問して……………東高校生 10

◆ 早蕨市民大学 ◆

源氏物語とその意義(一) 久曾神昇 11~12
私と早蕨市民大学……………池田泰三 13
平和と生き甲斐……………杉浦敏男 13
定年後の生き方……………唐沢隆雄 14
老輩の生き甲斐……………山本一良 14~15
早蕨市民大学八〇年度後期日程表 15
さわらび日記…………… 15
野依福祉村建設資金寄付ご芳名… 16
九月美術案内…………… 16

たにあり得ない縁^縁しの積み重ねの結果として、今、ここで一緒に人生の一時期を過ごすことができるのですが、然し、いつかは必ず別れなくてはならないのです。

だから、ここで働く人々も、患者さん達も、有難い因縁で結ばれたこの出逢いを大切にして、生きてゆかなくてはならないと思います。

いつかは必ず変化し、そして無くなる金や物や名誉にとらわれることなく、生命とともに支えられた能力を、できるだけ伸ばし、その能力でできるだけ多くの人々を幸せにする努力をしなくてはならないと、私は思っています。

二、山本病院の歩み



①患者さんのために

患者さんが入院されて一番困るのが、付添のことでしたので、付添がなくても安心して入院できるように介護婦を採用したのが、七十一年二月でした。

また、たとえ病気にかかっても、寝たきり老人にならず、自立した生活ができるようになるために必要なリハビリ（機能回復訓練）の、施設とスタッフを揃えたのが、七十一年十一月でした。

入院した老人が、終日何もなすことなく、茫然と日々を過し、一層老を促進しているのを見て、少しでも興味と関心のあることを行って、生き甲斐を再発見し、老化、痴呆化を予防しようとして老人学校を始めたのが、七十二年の初めでした。

更に、老人学校だけではあきらまず、より高度な勉強を望まれる老人方のために、大学程度の講義を提供しようとして、七十三年九月より始めたのが、現在の早蕨市民大学です。

②従業員のために

病院の運営を民主的に行うためと、従業員の資質向上を図るために、院内に就業規則審議、賞罰、行楽、スポーツ等の委員会をつくり、且つ、全員集会も開催してまいりました。

院内の各部署の交流と、従業員の相互理解を促進し、更に従業員の教養向上を図り、その上、地域文化の向上に少しでも役立つことを目的として、七十三年五月より、院内報「早蕨」を発刊いたしました。

また、従業員の相互理解と教養向上のために、毎朝の院内放送で、従業員が自由に意見を発表するようにしたのが、七十四年六月十一日からです。

従業員の不時の災害時の相互扶助と、お互いの冠婚葬祭時の心労を除くために、共済組合をつくったのは七十二年九月でした。以来、すべての従業員は、基本給の5%を共済組合へ拠出し、不時の出費に備え、安心して働いて居ります。

③地域福祉のために

従業員がボランティア活動をするために、毎月の給料の百円以下の端数の部分を拠出して、七十五年三月に福祉基金をつくり、以来この基金を活用して、毎月活発にボランティア

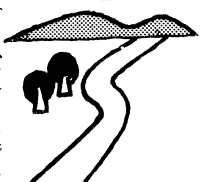
活動を行って居ります。

又、老人医療に従事して居りますと、老人の幸せと健康は、医療行為だけでは、どうしても守れないことが痛感され、老人ホームをつくるために、社会福祉法人「早蕨会」を七十六年に設立いたしました。

更に、老人の幸せを守るだけでなく、身障者、精薄、自閉症の人々の幸せも守らなくては、地域の福祉は向上しないことを痛感し、野依福祉村の建設を始めました。これが完成すれば、この地域の人々は、いつ、どんなになろうとも、必ず幸せな生活が保障されるようになります。

三、今後歩むべき道

①人口高齢化



今後、人口の高齢化が急速に進みますから、寝たきり老人も、痴呆老人も、どんどん増え続け、老人の医療費は急激に増加いたします。いくら医療費が増えても、それ以上に生産性が上昇し、経済が成長すればよ

いのですが、資源やエネルギーの制約に加えて、外国との貿易摩擦もありますので、まことに前途は多難です。

変化する日本の社会経済状況の下で、老人の健康と幸せを守り、且つ、変遷する医療制度の中で、従業員の利益と幸せを確保するためには、今後、山本病院をどのように運営したらよいのでしょうか？

◎サイバネティクス



十九世紀後半、フランスに発生した絵画の印象派は、それ以前の構図や、遠近法や、明暗法を重視し、更に固定的な様式美や理想美を追求した絵画に比し、光や風によって時々刻々と変化する対象の瞬間的な印象を表現しようとした。

この印象派の考え方は、音楽や科学にも影響を及ぼし、二十世紀の科学の三大理論と言われる、相対性理論、量子論、そしてサイバネティクスでは、ともに観測者に無関係に外界に独立して存在する一定不変な対

象と言うものを否定して居ります。

サイバネティクスは、アメリカの数学者ウイナーによって創始されましたが、私達の環境や対象を静点な固定的なものとは見なさず、常に変化するものと考え、その変化に応じて、私達も行動を適宜変更して、その目的を達成すべきだと言ったのです。

例えば、ヨットを操縦する時には絶えず変化する風と波の力を考えながら、帆の向きと舵を絶えず変えて、目的地に到着するようにしますし、ミサイルは、絶えず進路を変えながら逃げる敵機を、風や引力の影響も越えて追いかけて、命中させますが、ともにサイバネティクスの対応の典型と言えます。

絶えず変化してやまない環境を正確に把握し、その変化に即応するように運営方針を調整するサイバネティクスの対応をすることによって、この地域の医療と福祉に貢献し、従業員諸君の利益と幸せを守ってゆき

たいと思つて居ります。

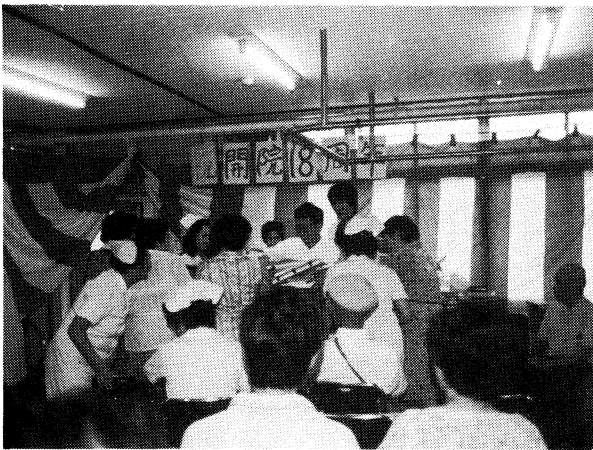
〈創立十八周年記念行事〉

八月十五日午後二時より、山本病院創立十八周年を迎え、記念式典が院内リハビリ室において行われました。

まず、全員で山本病院憲章を力強くよみあげ、続いて職員共済組合、並びに介護婦互助会より院長に花束が贈呈されました。引き続き、院長訓示があり（一〜三頁参照）、そして来賓を代表して、家族会会長の岡

田駒太郎氏より祝辞を受け、優秀職員の表彰に入りました。

式典第一部を終え、午後三時、病院裏庭に全員集まり、記念撮影。そして、再びビール、ジュースで乾杯の後、第二部のオークション、カラオケ大会を行いました。



押すな押すなの大にぎわい=オークション会場



デュエットで仲睦まじく=カラオケ大会

オークションでは、職員が持ちよった数々の品もアツという間に売り切れ、締めて五万五千余円に。早速野依福祉村建設資金に寄付。又、職員のカラオケ大会は、マイクを握りしめての熱唱の連続で、楽しい半日を過ごしました。

◇◇◇◇◇
医学講座
◇◇◇◇◇

心と体の関係



院長 山本孝之

一、心と体

病気の発病や経過に、私達の心は多かれ少なかれ必ず関与して居ります。

心と体の結びつきは、年をとればとる程密接になりますので、成人病は、不快な感情によって起ると言っても過言ではございません。

例えば、癌は、非常に不愉快な出来事が重なったり、深刻なうつ状態が続いた時に発病いたしますし、癌を自覚してから、死の恐怖にとりつかれ、生きる意欲を失った人は、ほとんど癌が進行して早く死亡しますが、癌が自然に治った人では、癌とわかってから、残された人生の一日一日を感謝して生き、死の恐怖や意欲喪失は全然認められませんでした。

二、神経症（ノイローゼ）



精神的な葛藤のために、心身の働きが悪くなるのが神経症で、精神症状が主で、体の症状は出たり出なったりします。

〔原因〕

神経症にかかりやすい性格、即ち何をやっても自信のない人、完全主義者で過度に潔癖で几帳面な人、すぐふさぎ込む抑うつ症の人、そして自己中心的で虚栄心の強いヒステリック性格の人等が、身近な人の死亡、失恋、疾病、破産、天災等、不幸な出来事に遭遇いたしますと、発症いたします。

〔病型〕

神経症には、次のようなタイプがあります。

①心気症—便秘だとか、不眠のような体の些細な変化に、過度な不安とこだわりを示すもの。

②不安神経症

はつきりした理由もないのに、激しい不安に襲われ、胸がドキドキしたり、手足がふるえたり、冷汗をか

いたりするもの。

③ヒステリー

精神的な葛藤から逃れるとか、社会的な責任を免れるために、手足が動かなくなったり、手足がふるえたり、突然ぶつ倒れて痙攣するような症状を起すもの。

④強迫神経症

代表的なものは、高所恐怖症とか不潔恐怖症で、自分でも馬鹿げていると思っても、高い所や、不潔なものや、尖ったものに、異常に強く不安や恐怖を感じるもの。

三、心身症



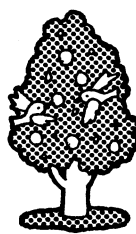
心理的なことが原因で、体の異常が起るものを心身症と言い、情緒不安定な人が、不快な情動ストレスにさらされると起ります。

主な心身症は、高血圧、気管支喘息、胃潰瘍・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、慢性頭痛症、関節リュウマチ、丸ハゲ等です。

特に老人では、若い時には外に向

けられた興味と関心が、年をとるとともにだんだん狭くなってゆき、その狭い環境の中での、不安や精神的葛藤を、比較的耐えることの容易な身体症状に移行させてゆくと云う心理的経過で発症するもので、その上、発症することで他人の愛情と援助を強く求めようとするのです。

四、精神療法



神経症や心身症の症状の裏には、患者が直面することを避けている心の痛みや苦悩が隠されて居ります。従って、症状は、それらを白日のもとにさらすのを遮ってくれる覆いの役目を果たしているのです。そこで、不眠、頭痛、不安等の症状をとる薬を使うことは、折角の覆いを引きはがすだけになりますので、根本的な精神療法を行うことが、最も大切です。

そして、精神療法を行うに当たっては、まず、医師が率直に患者の不安や苦悩に共感と同情を示し、患者が

安心して心を開けるような信頼関係が結ばれなくてはなりません。

具体的な精神療法のやり方は、色々ございますが、現在よく行われるのが、自律訓練法とバイオフィードバック療法です。

①自律訓練法（自己睡眠法）

自己暗示で、手足を重く感じさせたり、手足をあたたかく感じさせることで、心身を楽にさせ、心のもつれを自覚させて、病気を治すものです。

②バイオフィードバック療法

例えば、高血圧の患者を、血圧が上った時には赤ランプ、下った時には青ランプがつく装置に接続し、患者自身にどのようなことを考えているれば、血圧が下るかを体得させる方法です。

③その他の生活指導

先ず、患者に感謝の心が一番大切であることを教え、それを言葉や態度に表すように指導いたします。自分が熱中できる趣味を持つのもよい

ことです。また、家庭の中で、患者が出来る手伝いをして、自己の役割を果たすようにさせます。できれば地域社会の中でも役割を受け持つとか、老人クラブへ出席するとかして、なるべく生活の輪を広げるようにして下さい。

④ご家族への注意

神経症や心身症の老人を抱えたご家族は、なるべく優しく愛情を持って老人に接し、度々老人に声をかけ、たとえ用事はなくても雑談をかわすようにして下さい。

老人と薬剤



薬剤師 武田正治

戦後、日本人の寿命は急速に伸び老人人口は今後も増加し続け、六十五歳以上の老人が占める割合は、昭和五十年には七・八%でしたが、昭和九十年には十七・六%になると予測

されています。このような人口の急速な高齢化は初めてであり、今後の課題は老人問題であると思えます。

老人は、身体機能が老化していくために病気になるやすく、病気になる死亡しやすい。現状でも老人患者は多いが、今後この傾向は増々強まり、患者の大半が老人になることも予想できます。

従来からの医学は、青年・壮年層を対象として発展してきたので、老人に対しての種々の面で乏しいことがあり、例えば薬剤の選択、薬用量に於ても老人特有の面があるために、十分な考慮が必要ですが、現在の所、それらに対する十分な資料がないのが現状ではないでしょうか。

老年医学の目標は、寿命を伸ばすことではなく、現実の課題は、老人が生きている間は健康かつ活動的に生きがいのある人生を可能にするこ



一、老化による機能低下

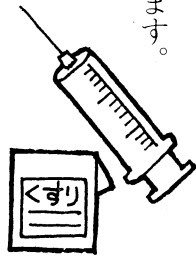
老化の基本となる変化は、臓器の細胞が死滅脱落してその数が減り、細胞間物質も量的質的に変化し、そ

の結果臓器が萎縮し機能も低下することです。例えば、免疫の中核である胸腺の萎縮により、老人の免疫能が低下し、肺炎等の感染症も多くなります。又、腎臓の機能は、およそ三分の二に低下します。多くの薬物は腎臓から排泄されるので、この低下は大きな意味を持ち、例えば、腎毒性のある薬剤は、その排泄量が減る事により蓄積され、毒性が強くなる場合も多くなります。又、排泄の遅い薬剤や作用の強い薬剤などは、蓄積されることにより、急激な強い作用が現れたりする場合もあります。

又、肝臓の萎縮は、老人には肝炎や肝硬変をもつ老人が多いので肝機能も低下させます。肝臓は腎臓とともに薬物を代謝排泄する臓器です。で、その機能の低下は、薬物を体内に蓄積させることとなります。

このように臓器の萎縮の為に細胞内水分量が減り、脂肪が増加する。そのため、薬用量を体重から計算すると、水溶性の薬物の場合には、血

中及び組織濃度が高くなりすぎます。反対に脂溶性の薬物は、体内に蓄積されやすくなります。又、自律神経系は、身体内部の調節をしている水分の調節、体温、浸透圧、電解質、血圧等々生命に必須の条件を維持するために、精巧な調節作用をもつてます。老人が病気にかけやすくなり死亡しやすいのは、神経系が老化して生体の調節作用が弱くなることが大いに関係しています。



二、副作用

以上述べたように、老人はあらゆる面で青壮年者と比べて老化しているため、副作用面でも多くなります。従来体重が同じであれば、薬用量も青壮年者と同量と考えられましたが、その量では老人には副作用が多い。H u r w i t z が副作用の頻度を調べた成績をみると、十〜二十九歳で約三〇%、三十歳〜五十歳で五〜八%、七十歳以上では約二十%と激増すると発表しています。

薬物は本来異物ゆえ、異物の侵入に対する抵抗力が弱まり、副作用を起しやすいことは老人の特徴といえます。多剤併用は副作用の危険を増加させる。基礎疾患も単一でなく数種の疾患をもつことが普通であり、自然、多剤併用になります。米国の調査によれば、薬物数が五以下では、副作用の発生率が四%であるが、薬物数が六〜十、十〜十五、十五〜二十と増加すると副作用は、十、二十八、五十四%と激増しています。この成績からみても、使用薬物数は、できるだけ少なくする事が望ましいようです。

三、薬用量

最後に、老人に、特に注意すべき薬物を取り上げてみると、メジジャー・マイナートランキライザー、抗うつ剤、ジギタリス、レセルピン、血糖降下剤、ステロイド、麻酔薬、麻薬です。これらの薬剤は、作用面、副作用面においても、注意して使用すべき薬剤です。

小児薬用量は、体重、年齢から決定することができ、これは小児では個体差が少なく病気が一つに限られているからです。老人の場合は、薬用量を一般化することができない。なぜならば、老化の程度は個体間に大差があり、同時に多数の疾患を持つているためです。通常は、常用量より少ない目(三分の一〜二分の一)から始めるのがよいと言われています。



〈症例⑤〉失読・錯読の治療

言語治療士 石井和子

運動性失語症のさまざまな症状の中に、失読・錯読といわれるものがあります。書かれたものを読もうとする時に、口頭では問題がみられないのに、全く読めなかったり(失読)、読みまちがえたり(錯読)するものです。

これは一般に、文字の形態把握には本質的な障害はなく、音声的把握や意味的把握が困難となります。日

本語では、表音文字である仮名は読みにくく、表意文字である漢字はおかされることが少ないのです。また、読字障害がかなり回復しても文章の読みが、なお困難で、とくに動詞の活用部分、助辞の部分など(仮名書きの部分)を読みおとしたり読み誤ったりします。そのため、文章の大意は了解できても、文章の明確な把握や微妙な弁別が困難となります。

T・Nさんは七十三歳の男性。昭和五十四年十一月、脳血栓になりました。麻痺はありませんが、運動すべてが拙劣で、緩徐言語です。検査の結果、聞いて理解することや読んで理解することは、劣っていました。保たれており、音読では音位転換や脱落、添加がありました。

訓練は、漢字一文字の音読、仮名一文字、仮名单語の音読、というように、音読に重点をおき、読みまちがいをなくし、意味的把握をすすめることにしています。

糖尿病の献立作成について

給食課長 細井悦子

糖尿病の食事療法は一生続けなければなりません。しかし、糖尿病食は健康な人が食べればますます健康になるということを頭に入れておかなければなりません。特に食べてはいけないものはなく、医師に指示された必要エネルギー量の範囲で、栄養のバランスをとり、自由に何を食べても結構です。栄養のバランスのとおり方を十分に理解すれば、正常人と同じように楽しい食事ができます。

保健所や病院などの糖尿病教室などに参加された方はご存じでしょうが、患者に必要なエネルギー量とバランスのとれた食事のとり方をわかりやすく、実行しやすくするために作られたものが、「糖尿病のための食品交換表」(日本糖尿病学会編)です。

①食品交換表の使い方

これは栄養素と体内に入っている働

〈例指示エネルギー1200cal 1日の単位(15)〉

群類別	表1	表2	表3	表4	表5	表6	付録
	穀・芋・豆	果実	魚・肉・卵	乳	油脂	野菜	調味料
1日単位	6	1	4	1.5	1	1	0.7
朝食	2		1			0.3	0.3(みそ)
昼食	2		1.5		0.5	0.3	0.4(砂糖)
夕食	2		1.5		0.5	0.4	
間食		1		1.5			

〈疾患別に見た食事に対する配慮の割合〉

	総数	考える	少し考える	考えない
男				
高血圧・心臓病	100.0%	21.3%	33.3%	45.4%
糖尿病	100.0	36.4	33.3	30.3
腎臓病	100.0	10.0	50.0	40.0
他・慢性疾患	100.0	18.8	28.6	52.6
なし	100.0	19.6	32.6	47.8
女				
高血圧・心臓病	100.0	23.7	35.3	41.0
糖尿病	100.0	51.4	31.4	17.1
腎臓病	100.0	15.4	26.9	57.7
他・慢性疾患	100.0	21.2	38.3	40.4
なし	100.0	22.0	33.7	44.3

⑥食事量の把握

⑤ 味付は砂糖、しょう油を薄味に。

④ なるべく家族と同じ分量だけ替えるのがよいでしょう。

③ 嗜好、食習慣も考慮に入れます。

② 指示熱量と栄養のバランスのとれた食事を。

① きのこ似ている食品を、表一と表六までに分類し、その他は付録として調味料やアルコール、菓子なども加えてあります。一単位八〇カロリーの量が示してあります。

家庭看護のポイント

便秘を整える方法

さわらび介護婦会事務長 河辺光雄



臥床を続けていると、運動不足のために便秘がちとなります。そこで下剤を飲ませたり、浣腸をするなどで便秘をつけることもあります。その前にクスリを使わずに、便秘を整えることを考えてみましょう。

◇生活リズムの調整

一日で最も落ちつける時間帯に調整します。便器に掛けたと思ったらちようど医師の往診にぶつかったり、お見舞い客に訪問されたりしますと、せつかくの便意がなくなります。

ふつう、食事をすますと、排便反射といって、便意がでえますから、朝食後か夕食後の時間を選ぶとよいと思います。

◇便秘のつく食事

病気になる、消化のよいものというところで、つい繊維に富む食品が敬遠されがちです。消化器に異常

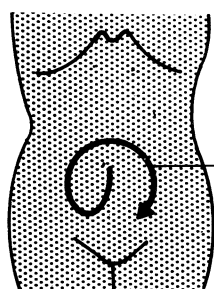
ない時には、葉菜類や芋類を献立に取り入れて下さい。玄米粥や玄米ご飯も便秘をつけやすくします。

◇飲物を十分に

腎臓や心臓に障害がない場合は、番茶、牛乳、ジュースなど、水気のもののできるだけあげて下さい。

◇寝返り、腹部のマッサージ

自分で寝返りのできる人は、できるだけ体の向きを変えよとか、自分でおへそを中心に「の」の字を相手にみせて画くように、腹部のマッサージをする



腹部のマッサージ

◇腰の温罨法

病人を横向けにして、全身清拭の要領で、熱い湯でしぼった数枚のタオルを腰にあて、その上にバスタオルで十五分程そのままにします。ガスでおなか張っている時効果的。

症例研究会 〈山本病院〉

ケースワーカー 高部ゆかり

今回は、うつ病の患者さんを取りあげました。

患者T・O、六十五歳。昭和五十五年二月二十五日入院。六人兄弟の第四子。父親は鳶職人。小学校を卒業後、市役所の電話交換手をしてた所、縁あって二十才で結婚。夫の両親との同居であった。子供は三人もうけたが、夫は女性関係で問題が絶えず、とうとう他の女性と家出してしまい、残された患者は、しばらくは夫の両親と子供達と暮らしていたが、夫の両親と折り合いが悪く、その生活に絶えきれず、患者は単身家を出、一人暮らしを始める。その後、一人暮らしで終戦をむかえたが、人に紹介され再婚。相手も再婚で、先妻の子五人のうち、三人は既に家を出ていたが、娘一人、息子一人が家におり、この二人を我が子のように育て大きくした。その後この娘が

嫁ぎ、夫も昭和四十五年、胃ガンで死亡。先妻の末子と二人暮らしとなつたが、末子は自営の商売の関係上留守がちで、ほとんどは一人ですごしていた。



一、病歴

昭和五十年過ぎより、言動におかしな点が表れてきた。隣近所の目をひどく気にするようになり、「隣の家の人や口やかましい。」「うちに掛つてきた電話を盗み聞きしている。」

「私がどこへ行つて来たか、みんな知っている。」等と言うようになった。又、昭和五十四年、六十四歳から年金を受けるようになってから、「自分の出したお金だから、もらつてもいいわねえ。」と確めるように言ったり、お金の事をひどく気にするようになった。

昭和五十五年二月に入ってから、「警察がつかまえて来る」「警察に行く」等と言ったり、外出して道に迷い、近所の人に連れられて帰宅した、という事もあった。

昭和五十五年二月二十日、突然御飯を食べなくなり、市内の病院で受診。内科的には問題なし、老人性うつ病と診断される。同日M病院（精神科）入院。夜よりトイレにも行かずオムツ使用。

昭和五十五年二月二十五日、本院転院、現在に至る。



患者の性格は、気が弱く、おとなしく、責任感が強く、まじめ。まわりと歩調を合わせようと努めるタイプ。友人は多い方ではないが、親しい人とは、うちとけて話す方だった。

その点はまだ不明ではある。しかし、入院来、同室の患者の名前を覚えたり、少しは経口摂取ができるようになったり、おしほりを自分で使うようになったり、といういくつかの変化が表われてきた。

二、診断

この患者に関するこれらの情報をもとにして話し合いを行った。まず主病名は、うつ病であり、痴呆症もあるということがわかった。拒食、拒薬の原因は二つ考えられ、一つは自殺したいと願っている場合、今一つは、自分を罪深い人間と考え、物を食べる値打ちがないと思ひ込んでしまう場合である。この患者の場合

①相手の気持ちを受け入れる ②患者自身の役割を再発見すること ③レクリエーションなどを試みる。

三、対応

その後、家族とも綿密に連絡をとるあい、一日の外出を行ったところ鼻腔栄養ばかりだった患者が、おかゆ、梅干し、卵等を、口から食べ、その後も、外出から帰っても、口から食べる様になった。とても良い経過ですすんでいるので、今後、この経口摂取をすすめると共に、リハビリへの参加等、積極的な入院生活になるように、援助していきたい。

へさわらび荘だより

一、メニューも豊富に喫茶デー
 さわらび荘では、七月二十一日、
 第一回喫茶デーを行いました。

荘内のお年寄りに、できるだけいま
 はやりの喫茶店の雰囲気味わって
 もらうため、メニューも豊富にし、
 選択の余地を考えました。

折りしも実習に来ていた豊丘高校
 の生徒さんに手伝ってもらい、寝た
 きりのお年寄りには部屋まで運んで
 もらいました。また、豊橋東高校の



荘内は喫茶店に早替わり……喜ぶ入居者の方々

茶道部の人には抹茶を立ててもらっ
 などのサービス。今後も一カ月に一
 回喫茶デーを設け、お年寄りに楽し
 んでもらうつもりでいます。



買い物に心はずんで……ちょっと休憩=ジャスコにて

二、車椅子で楽しく買い物

八月八日、買い物デーで、車椅子
 のお年寄り五名がジャスコに行っ
 きました。当日はボランティアの方
 にも手伝っていただき、喫茶店に入
 ってみんなでお茶を飲んで帰しまし
 た。買い物袋をさげて。何を買った
 のかな？

三、踊りも加わり民謡発表会

八月八日、東部老人センターで民
 謡の会に入っているお年寄り三十八
 名が来荘。さわらび荘の人達と合同
 で民謡の発表会を行いました。興が
 のつて、しまいには踊りまでとび出
 す盛況ぶり。また練習の成果を披露
 し合いましたと別れました。



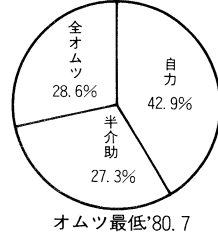
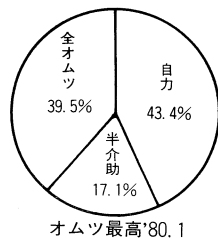
東部老人センターの方々と合同で民謡を披露=荘内集會室で

◇◇◇ 全オムツ使用者三〇%切る ◇◇◇

さわらび荘リハビリ課長 成田和夫
 さわらび荘では、二ヶ月に一度、
 全入居者の生活能力を調査していま

すが、今回の調査で面白い話題があ
 りましたので、報告します。

それは、この入居者で一日中オ
 ムツをしている人が二十三人で、全
 体の三〇%を割ったということです。



では、何故、オムツを取ることに
 やっきになるかといいますが、

一、退居できない第一の理由がオ
 ムツをしていて、手がかかると言わ
 れる。

二、排尿、排便の時間的制約がな
 く、緊張感がなくなり、痴呆化を促
 進させる。

三、尿路感染症及び特に夏場は陰
 部の湿疹等になりやすい。

四、股関節の動きが制限され、筋
 萎縮等が起りやすい。

以上のような理由で、オムツは何
 の利益もないわけで、はずせるにこ
 したことはないのです。

老人ホーム利用料の 改定について



さわらび荘生活指導員 安形健郎

八月一日より、老人ホームに入っている人の一部負担が改められますので、さわらび荘でも、これに備えまして、入居者、家族、職員を対象に説明会を開いたり、入居者の収入申告書作成等、準備をすすめてまいりました。

一、利用料改定の理由

老人ホームの運営費用は、特別養護老人ホームで一人月額約十五万円、養護老人ホームでは一人約九万円を要しており、国全体では、五十四年度に約千五百三十億円かかります。

この老人ホームの運営費用については、入居者又はその扶養義務者から、その負担能力に応じて、全部又は一部を負担してもらうことになってはいますが、現在の利用料大系は課税額で、利用料の負担能力を認定しているため、月に十萬円の年金を

もらっている方でも、市長村民税が非課税の場合、利用料は無料となり、実際の負担能力とかけはなれたものとなっております。

このため、年金を生活費にあてている在宅老人と、老人ホームで生活に必要なすべてのサービスを受け、年金をお小遣いとしているホームの老人との間に、不均衡が生じています。この不均衡は、今後、年金制度が整備されてきますと、増々大きくなることが予想されますので、社会的に不公正となります。

次に、老人ホームを生活の場としてとらえた場合に、ホームの老人に主体的にホームを利用してもらうという、老人の意識の面があげられます。三点目としては、福祉財政の面からみた場合、現在及び将来にわたり、非常に厳しい状態が予想されますので、財政の見直しという意味があると思います。

二、新しい利用大系は

入居者はその収入に応じて、負担

額が決まります。この場合、収入とは前年の総収入（臨時的な見舞金は除く）より、社会保険料、医療費、家族が入居者の収入で暮している場合の生活費等を控除した残りをさします。

そして、この収入が年額二十五万六千円を越す者が対象者となるわけですが、五十万の収入で月額四千九百円、百万で二万五千二百円といった具合です。又、五十六年度までは月額三万円の頭うちとなっております、老齢福祉年金だけが収入の老人の場合、対象外となっております。

三、まとめ

今後、高齢化社会への移行に従って、各種の施策が打ち出されてくるでしょうが、福祉はタダだということれまでの安易な考えを改めるべき時期にあるようです。

施設重点主義から在宅福祉へと福祉施策自体が変わってきており、老人ホームにあつては「收容の場」から、「生活の場」へ、そして「高度な

専門性を備えた生活の場」へと高めて行かねばなりません。

今回の利用料改定は、その意味においても老人ホームの新しい変化だといえる訳です。

★さわらび荘を慰問して★

豊橋東高校 加藤貴子・後藤純子

武田郁子・尾藤史子

私たちが「さわらび荘」を初めて訪れた時から、早くも半年が過ぎました。一回目はお互い慣れなくて気まずい思いがしましたが、回を重ねるごとに、おじいちゃん、おばあちゃんともお友達になり、土曜日がとも楽しみです。

お菓子をいただいたり、関東大震災の体験談や若い頃の話聞かせてもらったり、楽しいことばかりです。手作り作品もすばらしいですね。

これからもずっと、さわらび荘のおじいちゃん、おばあちゃんと仲良く、本当の孫のようになれたらいいなあと思っています。

四十二帖「匂宮」から四十四帖の「竹河」まで。薫十四歳から二十歳。

〈第七期〉今上第三期

四十五帖「橋姫」から四十九帖の「宿木」まで。薫二十歳から二十六歳までの宇治姫君との交渉時代。

〈第八期〉今上第四期

五十帖「東屋」から五十四帖「夢浮橋」まで。薫二十六歳から二十八歳の浮舟との恋愛時代。

四、光源氏の誕生

「いずれの御時にか、女御更衣あまたさぶらい給ひける中に……」

申すまでもなく、源氏物語初巻「桐壺」巻の冒頭文です。

天皇の配偶者は、皇后又は中宮と呼ばれましたが、初めから皇后、中宮にはなれません。例えば、大臣・親王家の姫が天皇の配偶者になると女御と呼ばれ、大納言以下の娘だと更衣となるわけです。その身分は家の社会的地位により決定づけられていました。そして、天皇の子を産むと御息所みやすきと呼ばれ、その子が皇太子に

なると中宮となります。天皇の奥さんに定員はありませんので、同じような人ができれば、先の人を皇后にして、次の人が中宮になります。

さて、桐壺の更衣ですが、大納言のひとり娘として育ち、何とか天皇の配偶者にと、小さい頃より皇后教育を受けました。皇后教育とは、一番大事なのが焼きもちやかず、嫉妬心なしということでした。そして、美しく、頭がよく、音楽ができ、文字も上手で、歌が詠めるといふ理想的な教育なのです。

桐壺の更衣は、この教育を受けておりますから、天皇のお気に入りとなり、寵愛を受けます。そうなれば他の女御、更衣より抵抗を受け、宮中生活に堪えられず、病気がちになり、源氏を産んで、三歳の時に亡くなってしまいます。

さて、そうなると桐壺帝はこの人のことばかり思い、一向に政理事をしない。他の女性にも見向きもしないで、桐壺のことばかり思っている。

一方、源氏は三歳で母を亡くし、帝直属で育てられます。やがて六歳の時、いよいよ東宮を決めなくてはならない時期に來ますが、帝は源氏への愛を抑え、兄の第一皇子を東宮に立たせ、源氏を臣籍に降下させます。



五、恋愛行脚の始まり

桐壺を失った帝は、追慕に絶えずその思いは一筋でしたが、桐壺によく似た藤壺を見出し、自ら痛恨の思いもいやされてきます。源氏も母によく似た美しい藤壺に好意を示し、親子の如く慕ってゆきます。

やがて、源氏は学問にしても、音楽にしても何でもできるようになりまします。そして十二歳で元服。つまり

一人前の男子になるわけですが、ここで十六歳の葵の上(帝の妹の娘)を妻に迎えます。

当時は、まず初めは年上の女性と結婚し、その次には同じ年頃の女性、そして次に若い女性と結婚するのが理想でした。

この葵の上は、高貴な人ですが、夫婦となると親しみが必要です。源氏はあまりこの葵の上が好かなかつたようです。では誰かと言えば、理想的なのは藤壺だったのです。

葵の上の兄は頭の中將で、源氏と彼は大変仲がよく、二人の恋愛行脚がやがて始まります。源氏は葵の上をお気に召さない、頭の中將も右大臣家の妻を好かない、これが源流になります。

源氏七歳の頃、藤壺がきたのですが、この母と源氏は五つしか違わない。そして妻と源氏も、四つしか差がない、つまり、母と妻は一つしか違わないのです。源氏の恋愛行脚が始まってゆくのです。(つづく)

随想 老後の生き甲斐

私と早蕨市民大学

早蕨市民大学学生 (八十九歳)
池田泰三



老人クラブの役員を長くやっていた関係で、会員が入院した時は、病院へ見舞に行くのを私の務めとしていました。

たまたま山本病院で老人大学が開校される事を聞き早速入校申込、第一期(一九七三年)から休むことなく引き続き受講しています。

人間は社会的な生活する動物だと言われ、又、万物の霊長とも言われます。社会生活を円滑円満にするためには、正邪・是非・善悪の判断力と霊長たるにふさわしい教養・知識が必要だと思えます。その大切な学問知識を各方面の造詣深い講師先生方に授けて頂いております。教え方が親切でよく分りますので、電車を乗り継いでの通学受講が楽しくてやめられません。特に山本校長先生の人

の生命に関すること即ち人体構造、生理作用、栄養、精神、病気(原因・治療・薬品)等に就て、詳細、懇切丁寧な講義は、予備知識の少ない私にもよく分ります。

保健条件を守って暮らし、心安らかに、寿命が延びていると感じます。誠にありがたいことであります。最近、余暇の過ごし方とか生涯学習とかの言葉を聞きますが、既に七年前から実施せられている早蕨大学講座こそ多くの人々が受けられることを、お奨め致します。

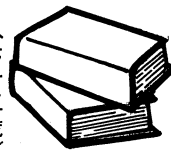
平和と生き甲斐

早蕨市民大学学生 杉浦敏男 (七十五歳)



現代は変化と激動の転換期にある。石油価格の上昇、為替

の乱変動、国際政治の不安定等、経済の根底を支えている基盤そのものが大きく動いている。現在は正に乱気流の時代と呼ぶことができる。日本の国内情勢についても同じで



政治・社会情勢が急激に変化している、各社会階層の人々は絶えず、これが対応に迫られ苦慮している。もし鈴木首相の所謂『和』の政治が平和への道を確実に進めるならば、国家・国民にとってまことに喜ぶべきことだ。昔から『和を以って貴しとす』といわれている通り、恒久平和こそ人類の理想だ。平和の維持推進こそ世界で唯一の原爆の被爆国たる日本の使命であり、国民の悲願だ。

我々は何よりも平和共存・善隣交友・恒久平和のために努力奮闘せねばならぬ。さて『生甲斐』とは何か？辞書によると『生甲斐』とは『生きていくだけの効力・生きていく幸福・利益』とある。人間は何の為に生きているのか？人生の意義如何？ということについては『生甲斐』の意味と同様に各人各様で殊に現代の様に価値観の多様化が進んでいる世の中では、明快に答えるのは困難だ。私の意見を率直に言うならば、人生の目的は働くことになる。労働こそ人生の目的であり、『生き甲斐』の目標ではあるまいか？人生の目的が働くことにある以上、人間は生涯働けるうちは年齢を問わず働くべきだ。働きながら安楽死する人は最高に幸福な人だと思う。ただ老後に病気や心身の支障で働けなくなったり、働きたくても適当な仕事もなく、自力で働く能力のない人は、国や自治体その他の人の援助を受けて生きる日の限り精一杯に頑張り続けて、天寿を全うすることに『生甲斐』を見出すべきものと思う。

人がこの世に生きるのには、人生に意義と価値を認めるからだ。人は生きにくい現世の中で、敢えて自殺を選ばずよく苦悩に耐えて生き抜こうとするのも、要するに人生に一定の価値を認めればこそ出来るのだと思う。たった一回限りの人生、先祖代々の血の連りを考える時、我々はあくまで報恩と感謝の念を以って天寿を全うするのが、人間の正しい生き方ではあるまいか。

定年後の生き方

早蕨市民大学学生 唐沢隆雄(六十六歳)



Aさんは、公務員を定年でやめ、更にある小さな会社に十

年勤めて、昨年退社し、四十余年のサラリーマン生活に一応の終止符をうったところである。

退社した先輩より、よく聞いていたことは、「長くサラリーマン生活をやった者は、定年後しつかりした心構えと、頭の切替えをしないと、世の中の変化に対応出来なくなり、その為に社会からだんだん遠ざかり、そして老け込み、長生きの出来ない人が多いので、在職中からこのことをよく考え、準備することが必要である。」ということであった。

Aさんは今、その言葉がどんなものであるかが、だんだん解ってきたのである。これからの社会に、どう対応して行くかを考えた。のんびりと隠居でもして、逃避してしまおうか、

しかしAさんの性格からして、そうすることは自滅することに等しいと言えよう。

模索の日が続いたある日、たまたま社会福祉協会のパンフレットで、福祉事務所を知り、尋ねてみた。係員の人のいろいろ相談したところ、ボランティアの仕事があった。特殊の技術に従事してきたAさんには、まあ相應しいといえよう、中学生相手の学習を見てあげることであった。

若い元気な子供達に、彼は昔を思い、張り合いが出てきた。週に二日その施設に行き、夜二時間の学習は彼に新しい活力を与えてくれた。また、市主催による高齢者福祉大学を知り、これに出席させてもらった。全くの一年生となって勉強を始めた。担当の講師の方々は、いずれもその道のベテラン揃いで、平易な解り易い言葉で講義され、老人として実生活に直結したことを具体的に話された。時事問題あり、健康問題あり、あるいは社会実地見学等、ここに新

しい生き方を見出したのである。又、福祉大学参加が縁となり、盆裁や俳句の誘いを受け、又これにも参加することになったが、いずれもこれらにはズブの素人で、これ迄考えなくてもみなかった事だけに、最初は面喰ってしまい、無我夢中であった。たまたま去る六月、この「早蕨」機関紙で市民大学の存在を知り、早速聴講させて貰った。老人とは何であるか、その心構えは等心身両面よりのお話であった。Aさんは日頃この問題には関心もあったが、本を読んでも理解し難い所が多く閉口していたところであった。今回の講話でその具体的ないくつかの実例を聞き、深い感銘を覚えた。特に脳と老化との関連には大きな興味を持った。そして更に新しい生き方が出て来たように思えた。

老輩の生き甲斐



山本一良(七十九歳)

私は健康であります。毎日四キロ

を歩いて健康を保つことを日課と心得、運動をします。何を食べてもおいしく載けます。野山を歩き、草木のことを教えられたり、地質や風土を研究したり、歴史的に調べたりする同好の人達と東三河各地を巡回し、大自然の美しさ神秘さを考えて、日本人に生まれた因縁の深さ有難さをつくづく想います。

私は四十年前召集され、ビルマ、タイ、ベトナム方面を十ヶ月間兵員輸送でトラック行軍をして帰国。満洲各地を軍務で行動し、そして終戦。戦後はシベリア抑留で三ヶ年重労働に服しました。南の国々では年中夏。シベリアは年中冬の気温。帰国して郷土豊橋に安住し、梅、桜、菖蒲、海水浴、紅葉、雪見等、四季の善さの景観を見直し、四季それぞれの農産物のおいしさ、衣服の変化の面白さ有難さがよく判りました。「苦難にまさる学問はない」との言葉が、我が身にしみる思いです。シベリアの冬は酷寒で一杯の水も非常に大切

の冬は酷寒で一杯の水も非常に大切

であり、お茶も飲めず、入浴はなく、着たまの生活でシラミに栄養はとられ、生死の間をさまよう生活。

このような苦しい悲しい体験をしてみて現在の生活の有難さが、強く深く感じられます。私も満八十歳に近く、自分も余生であるから、この世に少しでも良い事をし、御恩返しをせなければとの仏心も湧き、孤独の老人の方や、陰性と思われる方等訪ねたり、老人福祉センターで大勢の人達と交遊して暮らしています。

朝起きて正座し、「心の眼をひらけ」と物欲を離れ、真の幸せをと思ふれば、日本に生まれた有難さ、四季のある幸せ、日本の食物のうまさ、老人福祉の現代がよく判り、感謝の念が深まります。そして日本に生まれた因縁を思うと、先祖、父母、先生、友人、隣人、その他総ての人々や、食べ物等、一切の物に対して感謝の念も深まり、老輩にも大きな生き甲斐の毎日であります。



早蕨市民大学八〇年度後期日程表

演題	講師
医学講座(一) 「動脈硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(二) 「脳卒中」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(三) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(四) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(五) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(六) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(七) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(八) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(九) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十一) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十二) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十三) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十四) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十五) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十六) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十七) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十八) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(十九) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之
医学講座(二十) 「冠硬化」	山本病院院長 山本孝之

〈時〉毎週木曜日午後二時より
但し、万葉集は土曜日午後二時
〈所〉山本病院三階会議室
但し、宗教講座は老津の太平寺で行います。豊鉄渥美線「老津」で下車

「さわらび日記」



《病院》

《さわらび荘》

- 7月16日 幹部会
- 7月17日 早蕨大学運営委員会・早蕨大学(講師 久曾神昇)
- 7月18日 早蕨編集委員会
- 7月19・20日 社協主催作手村身障者キャンプ参加(八名)
- 7月21日 院内放送朝の言葉のテーマ「私の老後対策」八月末まで・薬事審議会・臨時幹部会
- 7月22日 県民生部より監査(給食、寝具)
- 7月23日 全員集会・家族会
- 7月24日 早蕨大学(講師久曾神昇)
- 7月25日 リハビリ研究会
- 7月26日 「呆け老人をかかえる家族の会」(愛知県)に院長、医療福祉課長出席(名古屋)
- 7月28日 医学研究会
- 7月30日 市特養老人ホームへ院長慰問
- 7月31日 早蕨大学(講師久曾神昇)
- 8月6日 五並地区市民館へ院長講演「老人の健康管理」
- 8月9日 早蕨編集委員会
- 8月11日 症例研究会
- 8月13日 幹部会
- 8月15日 創立十八周年記念式典
- 7月21日 第一回喫茶デー
- 7月23日 処遇研究会
- 8月7日 高浜高校生慰問・一宮町老人クラブ慰問
- 8月8日 第二回買物デー・東部老人クラブの人達三十名と合同民謡発表会
- 7月16日 ショッピング第一班(技科大・中部教会婦人部・愛知女子短大ボランティア)
- 7月19・20日 社協主催身障者キャンプ(入居者二名参加)
- 7月21~31日 岡崎女子短大ボランティア二名奉仕活動
- 7月22日 家族会
- 7月23日 入居者懇談会
- 7月25日 ショッピング第二班
- 7月28日 将棋リーグ戦開始
- 7月30日 ゲーム大会
- 8月1日 全体会議
- 8月5日 理容・症例研究会
- 8月7日 三河一宮老人クラブ見学
- 8月8日 高師校区民生委員見学
- 8月11日 盆帰省開始(十五名)
- 8月12日 症例研究会

野依福祉村建設資金寄付ご芳名

- 〔寄付金〕
 - 一、豊橋市東雲町一一九 豊橋市東雲町一一九 壹拾萬円
 - 一、豊橋市三本木町新三本木八八一 西上一成氏 壹萬円
 - 一、豊橋市東雲町一六二一一 山本孝之氏 壹拾萬七千貳百円
 - 一、豊橋市西高師町宇奥谷四〇一五 杉本竜典氏 貳萬円
 - 一、豊橋市瓦町通二一五二 北角藤吉氏 五千元
 - 一、豊橋市春日町一丁目二三 藤本桂市氏 壹萬円
 - 一、渥美郡田原町大字田原 石川ハルイ氏 五千元
 - 一、豊橋市牛川町薬師前五 羽田野 昇氏 壹萬円
 - 一、豊橋市野依町字山中珠藻荘内 山本つる子氏 壹拾萬円
 - 一、刈谷市今川町上池五四 岡田駒太郎氏 壹萬円
 - 一、豊橋市宮下町一 山本悌止氏 壹萬円
 - 一、豊橋市池見町二九 鹿山大吉氏 壹萬円
 - 一、豊橋市 匿名希望 壹拾四萬円
 - 一、豊橋市東雲町一六二ノ二 山本孝之氏 貳萬円
 - 一、有本 進氏 壹萬參千円
 - 一、成瀬龍城氏 壹萬參千円
 - 一、板倉 榮氏 壹萬參千円
 - 一、匿名希望 壹萬參千円
 - 一、武田正治氏 太田さく子氏 小川 さつ氏 江里口キミ子氏 岡田ゆかり氏 小早川たね子氏 佐藤ら く氏 石田鈴子氏 河辺光雄氏 小笠原ふゆ氏 近藤君子氏 細井悦子氏 鈴木幸子氏 栗田とくの氏 太田敏子氏 村田武雄氏 倉林延江氏 林いくよ氏 小田アイ子氏 蒲生トシエ氏 片岡 章氏 鈴木富美子氏 近藤かつ氏 野口邦子氏 中村とく氏 日野俊夫氏
 - 一、竹村英久氏 三浦良子氏 伊藤亨子氏 横田つた江氏 早崎泰広氏 森 フミ子氏 北河みい氏 柳知子氏 小林博文氏 山本真弓氏 以上三六名 各 壹千円
 - 一、稲垣つぎ子氏 河合なか子氏 高橋とも氏 渡邊慶子氏 井上明美氏 酒井 巖氏 野村すま子氏 関島弘子氏 竹生繁美氏 加藤博子氏 松井ひろ子氏 伊藤チエ氏 松井喜子氏 匿名希望 以上一四名 各 六千元
 - 一、リハベリ一同 匿名希望 貳千元
 - 一、刈谷市今川町上池五四 岡田駒太郎氏 五千元
 - 一、刈谷市今川町上池一一八一二 鈴木雅勝氏 壹千元
 - 一、名古屋港港区桶永新田字ぬ三七九 北河ゆき氏 壹千元
 - 一、名古屋港港区名駅二丁目一一一四 佐々木咲恵氏 参千元
 - 一、豊橋市宮下町一 さわらび介護婦互助会一同 貳萬円
 - 一、豊橋市東雲町一六二一一 山本病院職員一同 七萬七千元
 - 一、豊橋市牛川町字西郷二四一 二 さわらび荘職員一同 四萬六千元
 - 一、豊橋市東田町字西郷九六一 山本力司氏 壹千元
 - 一、豊橋市野依町字山中一九一 二 珠藻荘職員一同 貳萬六千元
 - 一、豊橋市東雲町四三三 夏目ちず氏 壹萬円
 - 一、豊橋市菰口町五丁目八九 丸山佳巳氏 壹千元
 - 一、豊橋市岩田町字五反田七 白井良治氏 壹千元
 - 一、豊橋市西松山町一〇五 山本茂子 壹萬貳千元
 - 一、豊橋市西小池町五三 伊藤一枝氏 壹萬貳千元
 - 一、豊橋市前田町二丁目一七一 六 齊藤只一郎氏 参千元
 - 一、豊橋市南栄町字空池四三一 六 佐藤俊男氏 参千元
 - 一、豊橋市野依町字東屋敷三三一一〇 兵藤俊次氏 貳千元
 - 一、豊橋市花田町字西郷一一五一 二 伊藤博次氏 壹千元
 - 一、湖西市大知波九八九 木村たね氏 四千元
 - 一、豊橋市牛川町字郷道二一一一八 浪崎浅治氏 四千元
 - 一、豊橋市牛川町字西郷二四一一 小金たか氏 貳千元
 - 一、山崎九二一氏 壹萬円
 - 一、鷹羽志ず氏 六千元
 - 一、今泉リエ氏 貳千元
 - 一、松本コト氏 貳千元
 - 一、山口ひで氏 貳千元
 - 一、大嶋武夫氏 貳千元
 - 一、越野ふく氏 貳千元
 - 一、加藤さだ氏 貳千元
 - 一、河合トク氏 貳千元
 - 一、堀田志起氏 貳千元
 - 一、田村たき氏 貳千元
 - 一、内藤さう氏 貳千元
 - 一、大河内喜藏氏 六千元
 - 一、杉浦さく氏 壹千元
 - 一、岡崎市福岡町字若一王三三 小島ふく氏 貳千元
 - 一、一宮市貴船一丁目三二一 六 平出 清氏 四千元
 - 一、知多郡東浦町緒川上家左川一五 京極 昌氏 六千元
 - 一、名古屋港西郷古野一一七一 肥田佳男氏 貳千元
 - 一、名古屋港西郷古野一一七一 肥田佳男氏 参千元
 - 一、豊橋市吾妻町一七八 久野玉一氏 壹千元
 - 一、豊橋市錦町二一一 広木とし子氏 四千元
 - 一、豊橋市三本木町新三本木八八一 西上一成氏 貳千元
 - 一、豊橋市瓜郷町前川五〇一一 鈴木弘生氏 参千元
 - 一、豊橋市大岩町字北山六七一七八 安田明生氏 貳千元
 - 一、名古屋港千種区覚王山通九一一 三輪ちよ氏 壹萬円
 - 一、豊橋市東田町二〇八一三 岡本 徳氏 壹萬円
 - 一、名古屋港緑区鳴海町字大清水六九 一四三八 成瀬龍城氏 壹萬円
 - 一、豊橋市牛川町字西郷二四一一 落合吉太郎氏 貳萬円
 - 一、匿名希望 五拾萬円
 - 一、豊橋市東雲町一六二一一 山本孝之氏 壹百五拾萬円
 - 一、豊橋市東脇三丁目一一一七 森田智章氏 壹萬円
 - 一、豊橋市入船町二二 林 秀夫氏 貳萬円
 - 一、豊橋市下地町若宮一四 北陸製菓(株) 壹萬円
 - 一、豊橋市富久崎町総合センター一 九一二 スズケン(株) 壹萬円
 - 一、豊橋市東新町一九五 滝川器械店 壹萬円
 - 一、豊橋市池見町一〇七 昭和薬品(株) 壹萬円
 - 一、名古屋港中区丸の内三一一一 三三 船橋薬品(株) 壹萬円
 - 一、新城市宇町並一四・一五番合併地 光田屋(株) 壹萬円
 - 一、名古屋港中区大須四一〇一四〇 不動建設(株) 貳萬円
 - 一、名古屋港中区丸の内三一一二六 中葉(株) 貳萬円
 - 一、豊橋市白河町一〇〇 中部ガス(株) 壹萬円
 - 一、豊橋市神野卓頭二 神野臨海開発(株) 壹萬円
 - 一、豊橋市下地町天神三四一一 白石医薬興業(株) 壹萬円
 - 一、名古屋港西郷古野一一七一四 綿古寝具(株) 壹萬円
 - 一、豊橋市東田町一五四一一 竹田商店 壹萬円

9月	9月																														住 所	TEL
	1月	2火	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	10水	11木	12金	13土	14日	15月	16火	17水	18木	19金	20土	21日	22月	23火	24水	25木	26金	27土	28日	29月	30火		
ギャラリー朝日	菅沼順一油絵展															常 設 展 (日本画、洋画etc)															豊橋市大岡町80	80-3301
ギャラリーL	小竹 晴 夫 個 展										常 設 展 (4人展)										八 木 功 個 展										市内大橋通3-125	53-0187
豊橋市美術博物館	中 日 書 道 展					でもんしゅ展					雪 鷗 展					東 三 美 術 展					市内今橋町3	51-2621										
豊橋市民文化会館	老人趣味の作品展																														市内向山大池町20	61-5111
札 木 画 廊	原田彰夫油絵個展										内山寒雨水墨画展										小林坐行靈韻書画個展					佐原泰彦油絵展					市内札木町63	54-5752
紅 の 木 画 廊	青陵中学5人展										山本鉄男水墨展										洋画展(とがし)					焼物展(益子焼)					市内札木町107	52-3756
マツバ画廊	休										共 田 真 性 展										本多繁慶個展					三 校 長 展					市内松葉町2	52-8910
マツモト画廊	絵 画 7 人 展										花器展 (鉄岩石一輪ざし即売会)										中部二元会新人展					大原宗顕茶花展					市内呉服町11	52-3216
隆 英 堂 画 廊	木版画5人展										POLYPHONY展 井上雅文、高田誠實										POLYPHONY展 伊藤 旭、大野俊治										市内新川町51	54-0727

9月 美術案内 (豊橋市)

現在迄御寄付頂きました金額は、五千五百六拾八萬七千貳拾八円。